

# Yjamライト!

## ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限です。ただし、元本金額が10億円を下回った場合などはファンドを終了（繰上償還）させる場合があります。
運用方針	この投資信託は、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。
主要運用対象	主として、投資信託証券（金融商品取引法第2条第1項第10号に規定する投資信託及び外国投資信託の受益証券並びに同項第11号に規定する投資証券及び外国投資証券をいいます。）に投資を行ないます。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ②株式への直接投資は行ないません。 ③外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ④デリバティブの直接利用は行ないません。
分配方針	①毎決算期に収益の分配を行なう方針です。ただし、基準価額の水準や市場動向等を勘案して収益の分配を行わない場合もあります。 ②分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。 ③信託財産に留保した収益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づき元本と同一の運用を行ないます。

## 運用報告書（全体版）

### 第2期

（2018年5月10日決算）

## 受益者のみなさまへ

平素は「Yjamライト!」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび第2期決算を行ないましたので、期中の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

## アストマックス投信投資顧問株式会社

東京都品川区東五反田二丁目10番2号

サポートダイヤル

0120-580446

〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時

<http://www.astmaxam.com>

## ■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券 比率	純資産 総額
	(分配落)	収益分配金 (課税前)	期中 騰落率		
(設定日)	円	円	%	%	百万円
2017年4月28日	10,000	—	—	—	40
1期(2017年11月10日)	10,174	0	1.7	99.5	964
2期(2018年5月10日)	10,046	0	△1.3	100.7	1,360

\*基準価額の騰落率は収益分配金(課税前)込み。

\*設定日の基準価額は当初設定時の価額です。また、設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を記載しています。

\*当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動することを運用の基本方針とはしていないため、該当するベンチマーク等はありません。

## ■ 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		投資信託証券 比率
		騰落率	
(期首)	円	%	%
2017年11月10日	10,174	—	99.5
11月末	10,242	0.7	102.7
12月末	10,274	1.0	99.3
2018年1月末	10,343	1.7	96.1
2月末	10,121	△0.5	100.0
3月末	10,125	△0.5	99.7
4月末	10,070	△1.0	100.6
(期末)			
2018年5月10日	10,046	△1.3	100.7

\*期末基準価額は収益分配金(課税前)込み。騰落率は期首比。

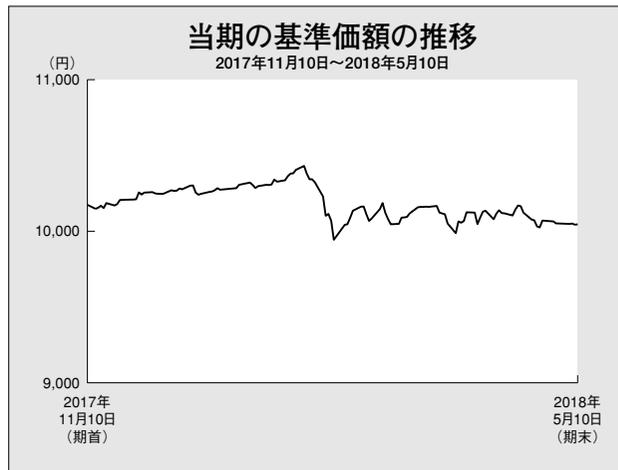
## ■ 当期の運用実績

### 〈基準価額の動き〉

当期末の基準価額は、10,046円となり、前期末との比較では1.3%の下落となりました。

### 〈基準価額の主な変動要因〉

緩やかな世界景気の拡大を背景に米国主導で世界の株式は堅調に推移した一方、米国の利上げペースが加速すると懸念などから債券の利回りが上昇（債券価格は下落）したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。組入投資信託証券別では、世界の株式を主要投資対象とするiShares Edge MSCIミニマムボラティリティグローバル・ETFは上昇しましたが、米国の債券を主要投資対象とするバンガード・トータルボンドマーケット・ETFなどは下落しました。為替ヘッジ（米ドルの売建て/円の買建て）に伴うコストの上昇も基準価額のマイナス要因となりました。



### 〈収益分配金〉

収益分配金（1万口当たり、課税前、以下同じ）については、基準価額の水準や分配原資の積み上がり状況等を勘案し、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し元本部分と同一の運用を行いません。

なお、分配原資の内訳は以下の通りです。

### ■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	第2期
	2017年11月11日 ～2018年5月10日
当期分配金(税込み)	－円
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	174円

\* 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（評価益を含む）」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

\* 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

\* 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 〈市況〉

### 株式

緩やかな世界景気の拡大を背景に米国の主要株価指数が過去最高値を更新するなど期初から上昇基調が続きましたが、米国の利上げペースの加速や米国と中国の貿易摩擦に対する懸念が高まったことなどから2018年の年明け以降は株価の調整が進み、世界的に値動きの荒い展開となりました。

### 債券

米国と欧州の金融政策のスタンスが緩和から引き締めに向かう中、米国のインフレ懸念の高まりや財政赤字の拡大リスクが意識されたことなどから米国主導で世界的に債券の利回りが上昇（債券価格は下落）する展開となりました。米国の10年物国債の利回りは約4年ぶりに3%台まで上昇しました。

※上記は、投資対象とする投資信託証券の値動きに基づき記載しています。

## ■ 当期の運用経過

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界各国の株式、債券に投資を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行なうことを基本としています。資産配分は、信託財産の純資産総額に対し株式50%、債券50%を目安としています。また、投資信託証券の投資割合は、原則として高位を保つことを基本としています。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行なうこととしています。

当期も運用の基本方針に則り、投資信託証券の組入比率は、概ね90%台を維持するとともに、資産配分は、株式50%程度、債券50%程度で推移させました。外貨建資産については、ほぼ全額為替ヘッジを行ないました。なお、当期において、投資対象とする投資信託証券の見直しは行ないませんでした。

## ■ 今後の運用方針

今後も投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界各国の株式、債券に投資を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行なってまいります。資産配分については、株式50%、債券50%を目安とする方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

※上記は作成日時点の見通しであり、今後予告なしに変更することがあります。また市場の変動等により方針通りの運用が行なわれない場合があります。

## 1 万口 (元本10,000円) 当たりの費用の明細

項 目	第 2 期		項 目 の 概 要
	(2017. 11. 11～2018. 5. 10)		
	金 額	比 率	
信託報酬	27円	0.262%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率。期中の平均基準価額（月末値の平均値）は10,195円です。
（投信会社）	(11)	(0.112)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(14)	(0.134)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	2	0.018	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数。売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(2)	(0.018)	
その他費用	21	0.206	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.025)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（法定開示に係る費用）	(18)	(0.178)	印刷会社等に支払う目論見書、運用報告書等の作成、印刷、交付等に係る費用
合 計	50	0.486	

\* 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

\* 「金額」欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ■ 売買及び取引の状況 (2017年11月11日から2018年5月10日まで)

### ● 投資信託証券

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国	口	千米ドル	口	千米ドル
(アメリカ)				
iShares Edge MSCI ミニマムボラティリティグローバル・ETF	23,300	1,947	—	—
バンガード・トータルボンドマーケット・ETF	13,688	1,104	—	—
バンガード・トータルインターナショナルボンド・ETF	19,077	1,043	—	—

\*金額は受渡し代金。

\*単位未満は切捨て。

\*管理上の都合により、口数の単位を調整して表示する場合があります（後掲の「組入資産の明細」において同じ。）。

## ■ 利害関係人との取引状況 (自2017年11月11日 至2018年5月10日)

期中における利害関係人との取引はありません。

\*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■ 組入資産の明細 (2018年5月10日現在)

### ● ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘 柄	当 期 末				
	口 数	評 価 額		比 率	
		外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	口	千米ドル	千円	%	
iShares Edge MSCI ミニマムボラティリティグローバル・ETF	74,460	6,203	682,110	50.1	
バンガード・トータルボンドマーケット・ETF	39,543	3,111	342,155	25.2	
バンガード・トータルインターナショナルボンド・ETF	57,497	3,137	344,948	25.4	
合 計	口数・金額	171,500	12,451	1,369,215	
	銘柄数<比率>	3	—	<100.7%>	

\*評価額の単位未満は切捨て。

\*邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

## 投資信託財産の構成

(2018年5月10日現在)

項目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	687,104	48.7
投資証券	682,110	48.4
コール・ローン等、その他	41,235	2.9
投資信託財産総額	1,410,449	100.0

\*評価額の単位未満は切捨て。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、5月10日における邦貨換算レートは1米ドル=109.96円です。

\*外貨建資産(1,369,425千円)の投資信託財産総額に対する比率は、97.1%です。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年5月10日)現在

項目	当 期 末	円
(A) 資 産	2,689,585,158	
コール・ローン等	41,234,147	
投資信託受益証券(評価額)	687,104,301	
投資証券(評価額)	682,110,755	
未 収 入 金	1,279,135,955	
(B) 負 債	1,329,405,873	
未 払 金	1,323,759,550	
未 払 解 約 金	193,644	
未 払 信 託 報 酬	3,194,843	
未 払 利 息	75	
そ の 他 未 払 費 用	2,257,761	
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,360,179,285	
元 本	1,353,907,127	
次 期 繰 越 損 益 金	6,272,158	
(D) 受 益 権 総 口 数	1,353,907,127口	
1万口当たり基準価額(C/D)	10,046円	

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

〈注記事項〉

・期首元本額	947,801,726円
・期中追加設定元本額	634,506,754円
・期中一部解約元本額	228,401,353円

## 損益の状況

(自2017年11月11日 至2018年5月10日)

項目	当 期	円
(A) 配 当 等 収 益	12,785,201	
受 取 配 当 金	13,552,547	
受 取 利 息	8,422	
支 払 利 息	△775,768	
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△25,540,517	
売 買 損 益	78,911,249	
売 買 損 益	△104,451,766	
(C) 信 託 報 酬 等	△5,766,945	
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△18,522,261	
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	7,941,796	
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	16,852,623	
( 配 当 等 相 当 額 )	(8,690,022)	
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(8,162,601)	
(G) 計 ( D + E + F )	6,272,158	
(H) 収 益 分 配 金	0	
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	6,272,158	
追 加 信 託 差 損 益 金	16,852,623	
( 配 当 等 相 当 額 )	(8,690,022)	
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(8,162,601)	
分 配 準 備 積 立 金	14,960,052	
繰 越 損 益 金	△25,540,517	

## 収益分配金のお知らせ

当期の収益分配は、見送らせていただきました。

## 組入投資信託証券の内容

以下は、当ファンドの組入投資信託証券の運用状況です。本書作成日時点で入手しうる直近の計算期間末日※の情報（年次報告書等）に基づき作成しています。運用管理費用率は、純資産総額に対する運用及び管理等にかかる費用の総額の割合を示したものです。組入（上位）銘柄の比率は、各投資信託証券の純資産総額に対する比率です。

※直近の計算期間末日は、iShares Edge MSCIミニムボラティリティグローバル・ETFは2017年8月31日、バンガード・トータルインターナショナルボンド・ETFは2017年10月31日、バンガード・トータルボンドマーケット・ETFは2017年12月31日となります。

### 【iShares Edge MSCIミニムボラティリティグローバル・ETF】

(運用管理費用率：0.20%)

#### 組入（上位）銘柄

	銘柄名	比率(%)
1	JOHNSON & JOHNSON	1.5
2	MCDONALDS CORP	1.3
3	PROCTER & GAMBLE	1.2
4	AUTOMATIC DATA PROCESSING INC	1.2
5	CONSOLIDATED EDISON INC	1.2
6	NESTLE SA	1.1
7	AT&T INC	1.0
8	RECRUIT HOLDINGS LTD	1.0
9	WASTE MANAGEMENT INC	1.0
10	PEPSICO INC	0.9

### 【バンガード・トータルインターナショナルボンド・ETF】

(運用管理費用率：0.12%)

#### 組入（上位）銘柄

	銘柄名	比率(%)
1	FRANCE 0.A.T.	0.7
2	BUNDESUBL-176	0.7
3	JAPAN GOVT 5-YR	0.6
4	DEUTSCHLAND REP	0.6
5	JAPAN GOVT 5-YR	0.6
6	JAPAN GOVT 5-YR	0.5
7	JAPAN GOVT 2-YR	0.5
8	UK TSY GILT	0.4
9	UK TSY GILT	0.4
10	JAPAN GOVT 10-YR	0.4

### 【バンガード・トータルボンドマーケット・ETF】

(運用管理費用率：0.05%)

#### 組入（上位）銘柄

	銘柄名	比率(%)
1	Federal National Mortgage Assn.	2.6
2	Government National Mortgage Assn.	2.5
3	Federal National Mortgage Assn.	2.3
4	Federal National Mortgage Assn.	1.8
5	Federal Home Loan Mortgage Corp.	1.7
6	Government National Mortgage Assn.	1.7
7	Federal Home Loan Mortgage Corp.	1.6
8	Government National Mortgage Assn.	1.3
9	Federal Home Loan Mortgage Corp.	1.1
10	Federal National Mortgage Assn.	0.7